

思春期のこころと家族の関わり

【概要】子育てをする中で最も厄介な時期が思春期です。この時期の子どもの言動は、あたかも吹き荒れる”嵐”のごとくで、手を付けることができない状態になることが多いのです。かといって、”嵐”、あるいは”そよ風”すらも吹くことなく”無風”で平穏なままに思春期が過ぎ去るとすれば、その後の子どもにとっても親にとっても悩ましい出来事が起こる可能性が高くなるのです。その意味で、この思春期の時期に少し強めの”風”が吹くことは喜ばしいことですし、親がそれをしっかりと受け止めることができるなら双方にとってはベストなのですが、その時期にベストな関係を持つためには、それまでの親子関係の在り方がきわめて重要なのです。このコースでは思春期に向けてどのような親子関係を持ち続け、思春期の”嵐”に対してどのように向き合えばよいかの知識を学んでいただこうと思っています。

【対象】子どもの年齢を問わず子育て中の養育者、児童関係の仕事（教育・福祉・心理関連等）に携わっている専門職の方で、これまでの経験知や習得した知識を再確認し、必要に応じて知識や知恵の上乗せする意欲をもち、子どもに対する新たなアプローチの仕方を修得することに興味がある方。

【講師】吉川 眞（広島国際大学 客員教授）

【定員】10名

【その他】配布資料は要点のみを記したものとなりますので、もしさらに詳しく知りたいと思われる方はサブテキストとしての出版物（思春期の”嵐”：そのメカニズムと向き合い方～子どもが園児。小学生である間に、親であるあなたに知っておいて欲しいこと、2000円）をご用意いたしますので、必要があれば受講申し込み時、あるいは初回受講時にお申し込みください（残部僅少ですので、お渡しできない場合があります）。

会場：東広島キャンパス

日時	講座名	講座内容
1 10月1日（水） 13:00-15:00	思春期に見られる厄介な行動のメカニズム	思春期に入ると、周囲の子どもたち（同性、異性）が示す言動は多様性・独自性を示し始めます。その変化を目の当たりにし続けることで、自分が持っている“超自我”に揺らぎが生じ始めます。つまり、親から取り入れた基準と、周囲の子どもたちが持つ基準にズレを感じるようになるため、どのように振舞うのが適切なかが分からなくなるのです。そのため、まずは基準となっている養育者の教えや倫理観、生活習慣などを徹底的に軽蔑、無視し、叩き壊して再構築しようとし、その葛藤が厄介な行動を引き起こす大きな要因になっていることを学びます。
2 11月5日（水） 13:00-15:00	子どもを信じるとはどういうこと？	愛着とは、一般的に慣れ親しんだ者に心を引かれる状態を意味しますが、乳幼児の場合、特定の大人から継続的に愛され、大切にされることで深まる“情緒的な絆”のことを言います。子どもはすべての情報を集約する言わば“パラボラ・アンテナ”ですので、その大人から信じられているか、愛されているかを瞬時に感じ取ることができます。そして、感じ取ったことに多大な影響を受けた結果、思春期になって”嵐”となって吹き荒れるか、”やや強い風”となって現れるかが決まるのです。そこで、ここでは愛着形成の持つ意味・意義について学びます。
3 12月3日（水） 13:00-15:00	自己肯定感を高める	自己肯定感とは、「自分は大切な存在で、周囲から必要とされている」というように、自分の存在価値や存在自体を肯定的に受けとめる感覚や感じ方のことです。この自己肯定感を高めることで、自分の言動に自信を持ち、何事にも前向きにチャレンジできますし、困難に直面してもくじけずに立ち向かって道を切り開いていくことができるようになります。この自己肯定感には基本的には家族関係を通じて得るものですので、どのような関わりを続ければ子どもの自己肯定感を高めことができるか、それが思春期の嵐とどのように関係してくるかについて学びます。
4 1月7日（水） 13:00-15:00	やる気を育てるメカニズム	やる気があると、人は目標や課題に対して積極的に取り組み、達成のために行動することができます。そのためには、自我を強めるとともに、目標達成に向けた具体的に目標を設定した上で行動計画を立て、継続して取り組むことが求められます。その継続性を下支えする手法としての行動変容アプローチを学びますが、それ以上にその手法の根底にある親子関係の対等性に着目することが思春期の嵐を生み出すエネルギーを創造的な方向に導くことになることを学びます。
5 2月4日（水） 13:00-15:00	思春期の子どもを持つ、あるいはこれから持つことになる皆さんに捧げる10の提言	これまでの講義を通して学んできたことを踏まえ、「子どもの育て方に“正解”は存在しない」、「思春期の最大の特徴」、「問題が起きるのは、“こころ”を使い忘れていたから」、「子育てが上手いかわからない原因が分かっただけでは解決にならない」、「父親が課題とすべきこと」、「これからの子育てに望むもの」など、特に重要な10の提言を示させて頂き、今後の子育てを進めていく上での”知恵”として頂けるようにします。

【留意事項】

- ・開講日は10月から月1回、計5回の開講です。原則、第1水曜日（東広島キャンパス：13:00～15:00）を予定しております。
- ・8割以上（4回/5回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。